

令和5年度 麻布幼稚園学校評価
自己評価・学校関係者評価結果報告書

令和5年2月7日 港区立麻布幼稚園

令和5年度 麻布幼稚園学校評価 自己評価・学校関係者評価結果

【学校評価の方法と経緯】

保護者、幼児、学校運営協議会委員、教職員にアンケートを実施しました。

〈各アンケート回答率〉

保護者	80% (在園児数75名に対して60名の回答)
幼児	75% (在園児数75名に対して56名の回答)
学校運営協議会	75% (運営協議会委員20名に対して15名の回答)
教職員	100% (正規・非常勤教職員8名に対して8名の回答)

アンケートの回答項目 (保護者・地域・教職員)

A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない
D:あてはまらない E:わからない

アンケートの回答項目 (幼児)

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまりそう思わない
D:そう思わない E:わからない

アンケートの結果を基に、自己評価を行いました。

【各項目からの自己評価】

〈幼稚園運営〉

6つの項目の中、3項目については、A(あてはまる、)B(ややあてはまる)の合計が96.0%以上、2項目については90%以上、1項目については80%以上であり、概ね幼稚園運営へのご理解をいただいたものと受け止めています。

〇(1)については、A、B合わせて100%であり、昨年度に引き続きX(旧twitter)等の発信やアプリ「コドモン」を利用した園便りや手紙の発信への評価をいただいたものと考えています。学級の保護者に向けた写真を中心としたドキュメンテーションによる発信、回答機能を使用したアンケートの実施や行事の感想文の提出についても評価をいただいたものと受け止めています。

教員の評価では、ホームページの充実をめぐるべきであるという反省が出されました。港区立学校共通のホームページのよさを生かし、内容を充実させていきたいと考えます。

○(5)については、A、B合わせて、90%以上であり、昨年度より7%上昇しました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに、主に5歳児が、麻布小学校の1年生や5年生との交流を実施することができたこと、保育園の5歳児を行事等に招いて交流ができたことからの評価と受け止めています。

地域の公立幼稚園として、近隣の保育園に園庭を開放したりそこで交流をしたりという取組も実施できました。

○(6)は、A、B合わせて、96.7%以上であり、昨年度より4.6%上昇しました。麻布っ子まつりへの未就園児親子の参加や未就園児の会(らっこクラブ)の実施を、月2回から週1回にしたことが主な要因と考えています。国が進める「こども誰でも通園制度」を鑑み、区立幼稚園としてできることを区教委に積極的に働き掛けていきたいと考えています。

〈教育内容・指導〉

○8項目中7項目で、A、B合わせて93.4%以上であり、概ね教育内容・指導への評価をいただいているものと受け止めています。昨年度と大きく変化のあった項目はなく、引き続き教育内容・指導の充実と努めてまいりたいと思います。

○(14)については、学校運営協議会委員、教職員の数値は、A、B合わせて100%でしたが、保護者は88.3%でした。今年度は、港区研究奨励園として研究・研究発表を行ったことにより、教職員自身は成果をあげられたことを実感しています。保護者には、さらに研究の内容や成果の詳細を伝えるが必要であったと考えています。教育内容の充実と併せ、研究の成果について伝えていきます。

〈安心・安全〉

○3項目について、A、B合わせて96.6%以上であり、安心・安全な園の施設の維持、安全教育への理解をいただいているものと受け止めています。

正門、通用門、玄関のオートロックの確実な施錠、保護者・来園者のネームプレートの着用と確認を確実に継続していきます。

毎月1回の避難訓練では、地震、火災、不審者対応、Jアラートといった危機を想定した避難訓練を実施しています。その他、教職員の研修として、不審者対応訓練、アレルギー(エピペン)研修、AED研修を実施しています。今後も、より

実際の事態を想定した備えや訓練を実施し、非常事態に備えます。

〈その他〉

- (18)については、A、B合わせて100%という結果でした。保護者・学校評議員の皆様には、行事への積極的な参加・参観や行事後等のアンケートへの協力をいただいています。幼稚園への関心や期待をいただいていると受け止め、今後も保護者、地域の皆様と共に幼稚園経営を進めてまいります。
- (19)(20)では、A、B合わせて96.7%という結果でした。幼稚園における国際理解教育の推進として、自国文化に親しむ取組、他国の文化に興味・関心をもつ工夫をしてきたことに対するご理解をいただいているものと受け止めています。引き続き、地域・保護者の皆様にご協力いただくと共に、区の予算を活用し講師を招聘し、お茶会、七夕や餅つきといった伝統的な季節の行事、親子論語の会、保護者に話をしてもらう会などを積極的に実施していきます。
幼稚園NTは、試験的導入であった今年度の実施を踏まえ、次年度からは本格的な実施となる見通しです。幼稚園、幼児の実態に合わせた幼稚園NTの活用をしていきます。

【園児アンケート結果からの自己評価】

- 6つの項目において、A(とてもそう思う)B(そう思う)の合計が、96%以上、6つの項目において、A・Bの合計が94.5%以上、1つの項目において、A・Bの合計が92%以上でした。
ほとんどの幼児が「幼稚園が好き、遊ぶのが楽しい」と思っていることが結果から読み取れました。
- 項目9「NTが好き」の項目のみ、D「そう思わない」と回答した幼児が2名いました。個別に関わりの様子を見ていきます。
- 幼児へのアンケートの実施は、今年度初めてでした。日頃の幼児との関わりからの見取りと併せ、教育活動にいかしていきます。

令和6年度の港区教育委員会の基本方針

港区学校教育推進計画 後期計画で取組強化をする「7つ」の事業

- 国際理解教育の充実 (令和6年度 特にと組強化する 事業)
- ICTを活用した学びの充実 (令和6年度 特にと組強化する 事業)
- いじめ防止推進事業の充実
- 基礎学力・活用力の習得
- 健康な体づくり
- 環境教育の充実
- 教員の働き方改革の推進

令和6年度 麻布幼稚園の基本方針(案)

- 開園90周年にあたり、地域・幼稚園が大好きな子どもを育てます。
- 幼児期からの一貫した国際理解教育を進めます。
 - ・自国の文化に親しみ、他国の文化に興味や関心をもつ子どもを育てます。
 - ・幼稚園NTと関わる楽しさを感じ、英語に親しみ、多様な人と関わることに楽しいと感じる子どもを育てます。
- 基本的な生活習慣を身に付くようにし、健康な体づくりを進めます。
 - ・「早寝、早起き、朝ごはん、朝ウンチ」が習慣となり、自分のことは自分でする子どもを育てます。
 - ・進んで体を動かして遊ぶ子ども、粘り強く取り組む子どもを育てます。
- 幼児の学び(遊び)の充実に向け、ICTの教育活動への活用を進めます。
 - ・小学校への接続を踏まえ、遊びの中での教師のICT活用を進め、ICTに親しみ、興味や関心をもつ子どもを育てます。
 - ・将来、ICTを有効に活用する子どもに育ていくために必要な、教職員、保護者の関りを学び共有する機会を設けます。

【学校関係者評価】

学校運営協議会において、「学校評価の方法と経緯」「各項目からの評価」を説明したところ、内容についてのご理解と承認をいただきました。

- ・麻布台ヒルズの開業に伴い、新たな危険に対する幼稚園からの指導もお願いしたい。
- ・自国の文化に親しむ活動を今後も継続してほしい。
- ・令和6年度に実施予定の幼稚園N Tの取組状況を伝えてほしい。

上記3点について、ご意見をいただきました。

保護者の自転車利用を含めた交通安全指導の実施、園外における部外者の無断写真撮影の防止について意見交換をしました。

自国の文化に親しむ活動を継続すること、幼稚園N Tの実施状況について報告をすることをお伝えしました。

令和6年度の基本方針の内容について説明をしたところ、ご理解、ご承認をいただきました。

令和5年度の自己評価・学校関係者評価の結果を踏まえ、令和6年度の教育課程を編成し実施してまいります。